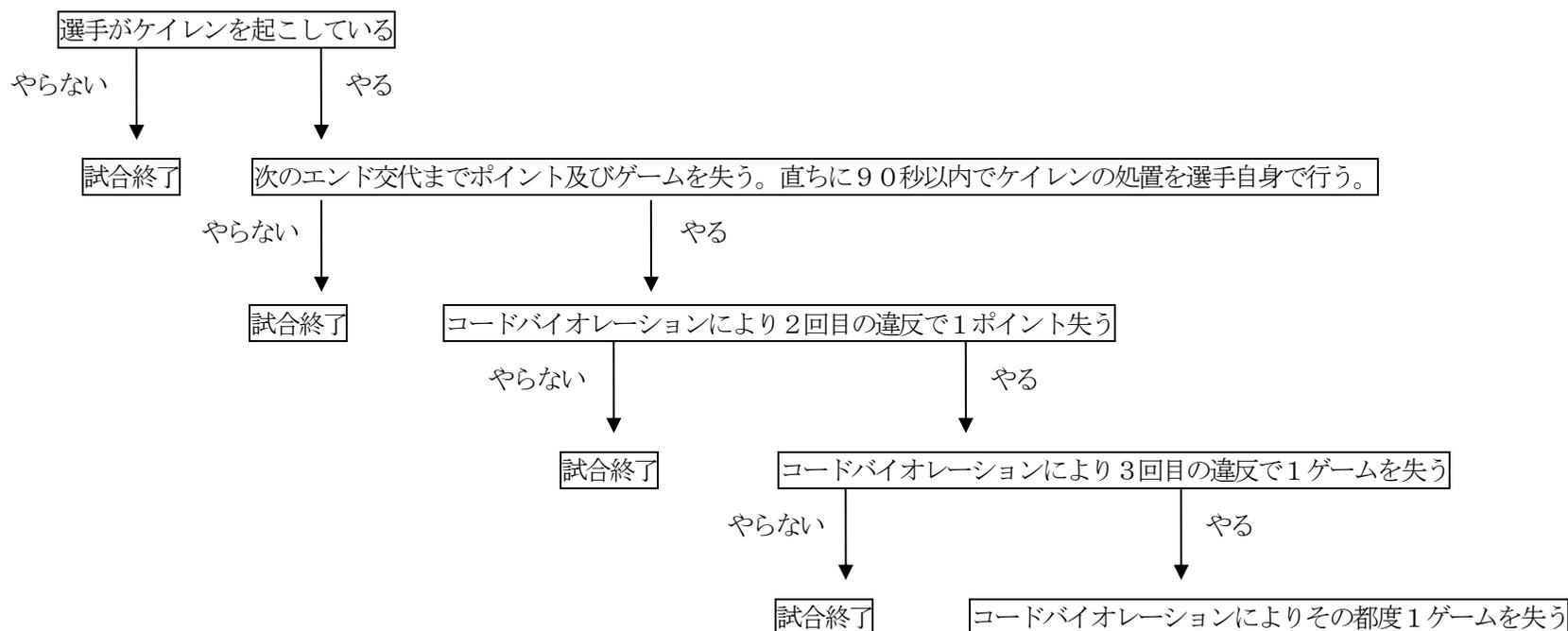


# ケイレンの対応について

ルールブック (P 1 2 4 (3) メディカルタイムアウト(注) , P 1 3 7 (8) ゲームの遅延, P 1 3 9 (1 9) ポイントペナルティ制度 参照)



例：選手が1-2の15-0でケイレンを起こした場合、「やるか」「やらないか」選手に聞く。「やる」場合はスコアを1-4して90秒の休みになる。試合を開始し、スコア1-4の30-30の所で再度なった場合はコードバイオレーションの2回目、1ポイントを失いスコアは1-4の30-40になる。

## タイムバイオレーションについて

選手がポイント間の20秒以上ダブルスで話し合っている場合、ゆっくりボールを拾って体力回復をしている場合、90秒以上ベンチで休んでいる場合は、タイムバイオレーションにより1回目は警告、2回目以降はその度に1ポイントを失う。